

算数科 小学校 第4学年 十日市場小学校 単元の評価規準

■評価の観点とその趣旨

| 知識・技能 | 思考・判断・表現 | 主体的に学習に取り組む態度 |
|---|---|---|
| <ul style="list-style-type: none"> ・小数及び分数の意味と表し方、四則の関係、平面図形と立体図形、面積、角の大きさ、折れ線グラフなどについて理解している。 ・整数、小数及び分数の計算をしたり、図形を構成したり、図形のア積や角の大きさを求めたり、表やグラフに表したりすることなどについての技能を身に付けている。 | <ul style="list-style-type: none"> ・数とその表現や数量の係に着目し、目的に合った表現方法を用いて計算の仕方などを考察する力、図形を構成する要素及びそれらの位置係に着目し、図形の性質や図形の計量について考察する力、伴って変わる二つの数量やそれらの係に着目し、変化や対応の特徴を見い出して、二つの数量の係を表や式を用いて考察する力、目的に応じてデータを収集し、データの特徴や傾向に着目して表やグラフに的確に表現し、それらを用いて問題解決したり、解決の過程や結果を多面的に捉え考察したりする力などを身に付けている。 | <ul style="list-style-type: none"> ・数学的に表現・処理したことを振り返り、多面的に捉え検討してよりよいものを求めて粘り強く考えたり、数学のよさに気付き学習したことを生活や学習に活用しようとしていたりしている。 |

算数科 小学校 第4学年

A 「数と計算」の評価規準

| 知識・技能 | 思考・判断・表現 | 主体的に学習に取り組む態度 |
|---|---|--|
| (1)「整数の表し方」 | | |
| 内容のまとめりごとの評価規準 | | |
| <ul style="list-style-type: none"> ・億、兆の単位について知り、十進位取り記数法についての理解を深めている。 | <ul style="list-style-type: none"> ・数のまとめりに着目し、大きな数の大きさの比べ方や表し方を統一的に捉えるとともに、それらを日常生活に生かしている。 | <ul style="list-style-type: none"> ・整数の表し方について、数学的に表現・処理したことを振り返り、数学のよさに気付き学習したことを生活や学習に活用しようとしていたりしている。 |
| 具体的な内容のまとめりごとの評価規準 | | |
| <ul style="list-style-type: none"> ・億や兆の単位について知るとともに、4桁ごとに新しい単位が用いられていることを理解している。 ・億や兆を用いる大きな数を、十進位取り記数法によって表すことができる。 | <ul style="list-style-type: none"> ・4桁で区切るなど単位のまとめりを考え、9桁を超えるような数を読んだり、数の大きさを比べたりしている。 ・これまでに学んだ一、十、百、千の繰返しと統一的に捉え、さらに大きな数についても類推して考えている。 | <ul style="list-style-type: none"> ・十進位取り記数法によって、10個の数字でどのような大きな数でも表すことができるよさに気付き、生活や学習で見られる大きな数を進んで理解しようとする。 |

| | | |
|---|--|---|
| (2)「概数」 | | |
| 内容のまとめごとの評価規準 | | |
| <ul style="list-style-type: none"> ・概数が用いられる場合について知っている。 ・四捨五入について知っている。 ・目的に応じて四則計算の結果の見積りをする事ができる。 | <ul style="list-style-type: none"> ・日常の事象における場面に着目し、目的に合った数の処理の仕方を考えるとともに、それを日常生活に生かしている。 | <ul style="list-style-type: none"> ・概数について、数学的に表現・処理したことを振り返り、多面的に捉え検討してよりよいものを求めて粘り強く考えたり、数学のよさに気付き学習したことを生活や学習に活用しようとしていたりしている。 |
| 具体的な内容のまとめごとの評価規準 | | |
| <ul style="list-style-type: none"> ・概数が用いられる場合を知り、概数の必要性を理解している。 ・「以上」、「以下」、「未満」の用語とその意味について理解している。 ・四捨五入などについて知り、四捨五入などをして数を概数にすることができる。 ・目的に応じて、和、差、積、商を概数で見積もることができる。 | <ul style="list-style-type: none"> ・場面を捉えて判断し、目的に合った概数の処理の仕方を考えている。 ・日常生活で用いられている数が、概数で表された数かどうかを判断し、考察している。 | <ul style="list-style-type: none"> ・概数を用いると物事の判断や処理が容易になるなどのよさに気付き、目的に応じて自ら概数で事象を把握しようとしている。 ・生活や学習の場面で、目的に応じて計算の結果を見積もろうとしている。 |
| (3)「整数の除法」 | | |
| 内容のまとめごとの評価規準 | | |
| <ul style="list-style-type: none"> ・除数が1位数や2位数で被除数が2位数や3位数の場合の計算が、基本的な計算を基にしてできることを理解している。また、その筆算の仕方について理解している。 ・除法の計算が確実にでき、それを適切に用いることができる。 ・除法について、次の関係を理解している。 (被除数)=(除数)×(商)+(余り) ・除法に関して成り立つ性質について理解している。 | <ul style="list-style-type: none"> ・数量の関係に着目し、計算の仕方を考えたり計算に関して成り立つ性質を見いだしたりしているとともに、その性質を活用して、計算を工夫したり計算の確かめをしたりしている。 | <ul style="list-style-type: none"> ・整数の除法について、数学的に表現・処理したことを振り返り、多面的に捉え検討してよりよいものを求めて粘り強く考えたり、数学のよさに気付き学習したことを生活や学習に活用しようとしていたりしている。 |

具体的な内容のまとめごとの評価規準

| | | |
|---|--|---|
| <ul style="list-style-type: none"> ・ 除数が1位数や2位数で被除数が2位数や3位数の場合の除法の計算が、基本的な計算を基にすることができることを理解している。 ・ 除数が1位数や2位数で被除数が2位数や3位数の場合の除法の筆算の仕方について理解している。 ・ 除数が1位数や2位数で被除数が2位数や3位数の場合の除法の計算が確実にできる。 ・ 除法を用いる場合を知り、適切に用いることができる。 ・ 簡単な除法について、暗算で答えを求めることができる。 ・ 用語「商」を知るとともに、整数の除法において、被除数、除数、商及び余りの間の関係について理解している。 ・ 除法に関して成り立つ性質について理解している。 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 除数が1位数や2位数で被除数が2位数や3位数の場合の除法の計算の仕方を考えている。 ・ 除法に関して成り立つ性質を見だし、その性質を活用して計算の仕方を考えたり計算の確かめをしたりしている。 | <ul style="list-style-type: none"> ・ $(何十) \div (何十)$ の計算を十を単位として考えれば1位数の計算として求められるというよさに気付いている。 ・ 除法に関して成り立つ性質を活用して、工夫して計算しようとしている。 ・ 暗算を、筆算や見積もりに生かし、主体的に計算の仕方を考えようとしている。 |
|---|--|---|

(4)「小数とその計算」

内容のまとめごとの評価規準

| | | |
|--|--|--|
| <ul style="list-style-type: none"> ・ ある量の何倍かを表すのに小数を用いることを知っている。 ・ 小数が整数と同じ仕組みで表されてことを知るとともに、数の相対的な大きさについての理解を深めている。 ・ 小数の加法及び減法の計算ができる。 ・ 乗数や除数が整数である場合の小数の乗法及び除法の計算ができる。 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 数の表し方の仕組みや数を構成する単位に着目し、計算の仕方を考えるとともに、それを日常生活に生かしている。 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 小数とその計算について、数学的に表現・処理したことを振り返り、多面的に捉え検討してよりよいものを求めて粘り強く考えたり、数学のよさに気付き学習したことを生活や学習に活用しようとしていたりしている。 |
|--|--|--|

| 具体的な内容のまとめごとの評価規準 | | |
|--|---|---|
| <ul style="list-style-type: none"> ・ある量の何倍かを表すのに小数を用いることができることを知り、拡張した倍の意味を理解している。 ・1/10の位、1/100の位と範囲が拡張された小数を知り、小数が整数と同じ仕組みで表されていることを知っている。 ・1.2を0.1が12個集まった数とみるなど、数の相対的な大きさから、小数を捉えることができる。 ・小数の加法及び減法についての理解を深めている。 ・1/100の位までの小数の加法及び減法の計算ができる。 ・乗数や除数が整数である場合の小数の乗法及び除法の意味について理解している。 ・乗数や除数が整数である場合の小数の乗法及び除法の計算ができる。 ・整数を整数で割って商が小数になる除法について、商の意味を理解している。 | <ul style="list-style-type: none"> ・端数部分の大きさを小数で表すとき、0.1の単位を作ったときの考えを基に、0.01の単位をつくることを考えている。 ・1/100の位までの小数の加法及び減法の計算の仕方を、整数の計算の仕方などと関連付けて考えている。 ・乗数や除数が整数である場合の小数の乗法及び除法の計算の仕方を、整数の計算の仕方と関連付けて考えている。 ・小数やその計算が日常生活にも使えることに気付いている。 | <ul style="list-style-type: none"> ・小数の桁の範囲が拡張されても同じ十進位取り記数法の仕組みで表されることを学んだことから、さらに小さい小数の位についても考えようとしている。 ・小数も、整数と同じように十進位取り記数法の仕組みで表されているから同じように計算できるというよさに気付き、小数の計算の仕方を考えようとしている。 |
| (5)「分数とその加法及び減法」 | | |
| 内容のまとめごとの評価規準 | | |
| <ul style="list-style-type: none"> ・簡単な場合について、大きさの等しい分数があることを知っている。 ・同分母の分数の加法及び減法の計算ができる。 | <ul style="list-style-type: none"> ・数を構成する単位に着目し、大きさの等しい分数を探したり、計算の仕方を考えたりしているとともに、それを日常生活に生かしている。 | <ul style="list-style-type: none"> ・分数とその加法及び減法について、数学的に表現・処理したことを振り返り、多面的に捉え検討してよりよいものを求めて粘り強く考えたり、数学のよさに気付き学習したことを生活や学習に活用しようとしていたりしている。 |
| 具体的な内容のまとめごとの評価規準 | | |
| <ul style="list-style-type: none"> ・数直線に示された分数を観察し、表し方が違っていても大きさの等しい分数があることに気付き、見つけることができる。 ・数直線や図を用いて、分数の大きさを表すことができる。 ・真分数、仮分数、帯分数の意味について理解している。 ・1より大きい分数を仮分数でも帯分数でも表すことができる。 ・同分母の分数の加法及び減法の計算ができる。 | <ul style="list-style-type: none"> ・分数の大きさを、数直線や図などで表したり、分数が表された数直線や図を読み取ったりして、分数の大きさについて判断したり表現したりしている。 ・同分母の分数の加法及び減法の計算の仕方を、日常生活における場面や単位分数の個数に着目して考えている。 | <ul style="list-style-type: none"> ・1より小さい分数の意味をもとにして、1より大きい分数の意味や、同分母の分数の加法及び減法の計算の仕方について考えようとしている。 |

| (6)「数量の関係を表す式」 | | |
|---|---|---|
| 内容のまとめりごとの評価規準 | | |
| <ul style="list-style-type: none"> ・四則の混合した式や()を用いた式について理解し、正しく計算することができる。 ・公式についての考え方を理解し、公式を用いることができる。 ・数量を□、△などを用いて表し、その関係を式に表したり、□、△などに数を当てはめて調べたりすることができる。 | <ul style="list-style-type: none"> ・問題場面の数量の関係に着目し、数量の関係を簡潔に、また一般的に表現したり、式の意味を読み取ったりしている。 | <ul style="list-style-type: none"> ・数量の関係を表す式について、数学的に表現・処理したことを振り返り、多面的に捉え検討してよりよいものを求めて粘り強く考えたり、数学のよさに気づき学習したことを生活や学習に活用しようとしていたりしている。 |
| 具体的な内容のまとめりごとの評価規準 | | |
| <ul style="list-style-type: none"> ・一つの数量を表すのに()を用いることや乗法、除法を用いて表された式が一つの数量を表すことなどを理解している。 ・乗法、除法を加法、減法より先に計算することや()の中を先に計算することなどのきまりがあることを理解している。 ・公式が一般的な数量の関係を表していることなど、公式についての考え方を理解している。 ・数量の関係を式で簡潔に表したり、式を読み取ったりすることができる。 ・四則の混合した式や()を用いた式について正しく計算することができる。 ・公式を用いて数量の関係を表したり、公式の言葉で表されているものにいろいろな数を当てはめることができる。 ・数量を□、△などを用いて表し、その関係を式にしたり、□、△などに数を当てはめて調べたりすることができる。 ・□、△などを用いた式において、□、△などは変数を表すことを理解している。 ・□、△を用いた式では、□、△の一方の大きさが決まれば、それに伴って、他方の大きさが決まることを理解している。 | <ul style="list-style-type: none"> ・数量と数量の関係を考える際に、幾つもの数量の組を使って、共通するきまりや関係を考え、見だしている。 ・式を読み、具体的な場面や思考の筋道を考えている。 | <ul style="list-style-type: none"> ・式や公式のよさに気づき、数量の関係を簡潔に表現したり、式の意味を読み取ろうとしていたりしている。 |

| | | |
|--|---|---|
| (7)「計算に関して成り立つ性質」 | | |
| 内容のまとめごとの評価規準 | | |
| ・四則に関して成り立つ性質についての理解を深めている。 | ・数量の関係に着目し、計算に関して成り立つ性質を用いて計算の仕方を考えている。 | ・計算に関して成り立つ性質に関わることについて、数学的に表現・処理したことを振り返り、数学のよさに気付き学習したことを学習に活用しようとしている。 |
| 具体的な内容のまとめごとの評価規準 | | |
| ・□、△などの記号を用いて、交換法則、結合法則、分配法則を一般的な式に表すことができる。 ・計算の範囲を整数から小数に広げても、交換法則、結合法則、分配法則が成り立つことを理解している。 ・□、△などを用いた式では、「同じ記号には同じ数が入る」ことを理解している。 | ・交換法則、結合法則、分配法則を用いて計算を簡単行うことを考えている。 ・交換法則、結合法則、分配法則が整数だけでなく小数について成り立つことを、図などを用いて考えている。 | ・整数や小数の計算に、計算に関して成り立つ性質を用いると計算を簡単に行うことができる場合があることなど、計算に関して成り立つ性質のよさに気付き、工夫して計算しようとしている。 |
| (8)「そろばんを用いた数の表し方と計算」 | | |
| 内容のまとめごとの評価規準 | | |
| ・加法及び減法の計算をしている。 | ・そろばんの仕組みに着目し、大きな数や小数の計算の仕方を考えている。 | ・そろばんについて、数学的に表現・処理したことを振り返り、数学のよさに気付き学習したことを学習に活用しようとしている。 |
| 具体的な内容のまとめごとの評価規準 | | |
| ・そろばんを用いて、簡単な億や兆の単位までの整数や 1/100 の位までの小数の加法及び減法の計算をしている。 | ・そろばんを用いた大きな数や小数の計算の仕方を考えている。 | ・そろばんによる簡単な計算の仕方を振り返り、そろばんの仕組みのよさに気付き、大きな数や小数の計算の仕方を考えようとしている。 |

算数科 小学校 第4学年

B 「図形」の評価規準

| 知識・技能 | 思考・判断・表現 | 主体的に学習に取り組む態度 |
|--|---|--|
| (1)「平面図形」 | | |
| 内容のまとめごとの評価規準 | | |
| ・直線の平行や垂直の関係について理解している。 ・平行四辺形、ひし形、台形について知っている。 | ・図形を構成する要素及びそれらの位置関係に着目し、構成の仕方を考察し図形の性質を見いだしていると同時に、その性質を基に既習の図形を捉え直している。 | ・平行四辺形、ひし形、台形などについて、数学的に表現・処理したことを振り返り、多面的に捉え検討してよりよいものを求めて粘り強く考えたり、数学のよさに気付き学習したことを生活や学習に活用しようとしていたりしている。 |

| 具体的な内容のまとめごとの評価規準 | | |
|--|---|---|
| <ul style="list-style-type: none"> ・直線の平行や垂直の関係について理解し、平行な二直線や垂直な二直線や垂直な二直線をかくことができる。 ・平行四辺形、ひし形、台形の意味や性質、対角線について知り、かくことができる。 | <ul style="list-style-type: none"> ・図形を構成する要素及びそれらの位置関係に着目し、構成の仕方を考察し、図形（平行四辺形、ひし形、台形）の性質を見いだしている。 ・四角形（平行四辺形、ひし形、台形）について、かき方を考えている。 ・見いだした図形の性質を基に、既習の図形（正方形、長方形）を捉え直している。 | <ul style="list-style-type: none"> ・身の回りから平行や垂直になっている二直線や平行四辺形、ひし形、台形を見付け、どのような性質を活用しているかを考え、そのよさに気付いている。 ・平行四辺形、ひし形、台形で平面を敷き詰める活動を通して、これらの図形が平面を敷き詰めることができるというよさやできた模様的美しさに気付いている。 |
| (2)「立体図形」 | | |
| 内容のまとめごとの評価規準 | | |
| <ul style="list-style-type: none"> ・立方体、直方体について知っている。 ・直方体に関連して、直線や平面の平行や垂直の関係について理解している。 ・見取図、展開図について知っている。 | <ul style="list-style-type: none"> ・図形を構成する要素及びそれらの位置関係に着目し、立体図形の平面上での表現や構成の仕方を考察し図形の性質を見いだしているとともに、日常の事象を図形の性質から捉え直している。 | <ul style="list-style-type: none"> ・立方体、直方体について、数学的に表現・処理したことを振り返り、多面的に捉え検討してよりよいものを求めて粘り強く考えたり、数学のよさに気付き学習したことを生活や学習に活用しようとしていたりしている。 |
| 具体的な内容のまとめごとの評価規準 | | |
| <ul style="list-style-type: none"> ・立方体や直方体について知り、立方体や直方体の構成要素や、それらの位置関係について理解している。 ・立方体や直方体の見取図をかくいたり、それらの見取図を見て、構成要素の垂直や平行の関係を読み取ったりすることができる。 ・立方体や直方体の展開図をかき、構成することができる。 | <ul style="list-style-type: none"> ・図形を構成する要素及びそれらの位置関係に着目して立体図形を仲間分けし、立方体や直方体の性質を考察している。 ・立方体や直方体を展開図として平面上に表現する仕方を考察し、見いだした立体図形の性質や構成要素の位置関係などを根拠にして、展開図のそれぞれの面の位置や大きさについて表現している。 ・日常の事象を図形の性質を用いて捉え直している。 | <ul style="list-style-type: none"> ・日常生活で見いだされる立方体や直方体がどのような性質を活用しているかを考え、そのよさに気付いている。 |
| (3)「ものの位置」 | | |
| 内容のまとめごとの評価規準 | | |
| <ul style="list-style-type: none"> ・ものの位置の表し方について理解している。 | <ul style="list-style-type: none"> ・平面や空間における位置を決める要素に着目し、その位置を数を用いて表現する方法を考察している。 | <ul style="list-style-type: none"> ・ものの位置について、数学的に表現・処理したことを振り返り、数学のよさに気付き学習したことを生活や学習に活用しようとしている。 |
| 具体的な内容のまとめごとの評価規準 | | |
| <ul style="list-style-type: none"> ・平面の上や空間の中にあるものの位置を表す際、平面上では二つの要素が必要で、空間の中では三つの要素が必要であることを理解している。 ・平面の上でのものの位置を二つの要素で表したり、空間の中でのものの位置を三つの要素で表したりすることができる。 | <ul style="list-style-type: none"> ・平面の上や空間の中でのものの位置を表すには、基準を決めることや方向を表す言葉や記号が必要であることを気付いている。 ・直線や平面の上でのものの位置の表し方から類推して、空間の中でのものの位置の表し方を考えている。 | <ul style="list-style-type: none"> ・数を使うとものの位置が簡潔に表されるよさに気付き、ホールや乗り物の座席など生活で使われている場面を調べるなど、生活や学習に生かそうとしている。 |

| | | |
|--|---|---|
| (4)「平面図形の面積」 | | |
| 内容のまとめごとの評価規準 | | |
| <ul style="list-style-type: none"> ・面積の単位(平方センチメートル(cm^2)、平方メートル(m^2)、平方キロメートル(km^2))について知っている。 ・正方形及び長方形の面積の計算による求め方について理解している。 | <ul style="list-style-type: none"> ・面積の単位や図形を構成する要素に着目し、図形の面積の求め方を考えているとともに、面積の単位とこれまでに学習した単位との関係を考察している。 | <ul style="list-style-type: none"> ・平面図形の面積について、数学的に表現・処理したことを振り返り、多面的に捉え検討してよりよいものを求めて粘り強く考えたり、数学のよさに気づき学習したことを生活や学習に活用しようとしていたりしている。 |
| 具体的な内容のまとめごとの評価規準 | | |
| <ul style="list-style-type: none"> ・面積の単位(平方センチメートル(cm^2)、平方メートル(m^2)、平方キロメートル(km^2))について知り、測定の意味について理解している。 ・必要な部分の長さを用いることで、正方形や長方形の面積は計算によって求めることができることを理解している。 ・正方形や長方形の面積を公式を用いて求めることができる。 | <ul style="list-style-type: none"> ・面積の単位や図形を構成する要素に着目し、正方形及び長方形の面積の計算による求め方を考えている。 ・長方形を組み合わせた図形の面積の求め方を、図形の構成の仕方に着目して考えている。 ・面積の単位とこれまでに学習した単位との関係を考察している。 | <ul style="list-style-type: none"> ・面積の大きさを数値化して表すことのよさに気づき、面積を調べる際に活用しようとしている。 ・長方形を組み合わせた図形の面積の求め方について、多面的に捉え検討してよりよいものを求めて粘り強く考えている。 |
| (5)「角の大きさ」 | | |
| 内容のまとめごとの評価規準 | | |
| <ul style="list-style-type: none"> ・角の大きさを回転の大きさとして捉えることができる。 ・角の大きさの単位(度($^\circ$))について知り、角の大きさを測定することができる。 | <ul style="list-style-type: none"> ・図形の角の大きさに着目し、角の大きさを柔軟に表現したり、図形の考察に生かしたりしている。 | <ul style="list-style-type: none"> ・角の大きさについて、数学的に表現・処理したことを振り返り、多面的に捉え検討してよりよいものを求めて粘り強く考えたり、数学のよさに気づき学習したことを生活や学習に活用しようとしていたりしている。 |
| 具体的な内容のまとめごとの評価規準 | | |
| <ul style="list-style-type: none"> ・角の大きさを回転の大きさとして捉え、その単位(度($^\circ$))と測定の意味について理解している。 ・角が 90° より大きい小さいかを判断するなどして、分度器を用いて角の大きさを測定したり、必要な大きさの角を作ったりすることができる。 | <ul style="list-style-type: none"> ・角の大きさを加法的に見たり、乗法的に見たりするなど、柔軟に考えている。 ・角の大きさを根拠にして図形を判断したり、それを表現したりするなどして図形を考察している。 | <ul style="list-style-type: none"> ・角の大きさの学習を生かし、身の回りにある図形を角の大きさに着目して捉えようとしている。 |

算数科 小学校 第4学年

C 「変化と関係」の評価規準

| 知識・技能 | 思考・判断・表現 | 主体的に学習に取り組む態度 |
|---|--|--|
| (1) 「伴って変わる二つの数量」 | | |
| 内容のまとめごとの評価規準 | | |
| ・変化の様子を表や式、折れ線グラフを用いて表したり、変化の特徴を読み取ったりすることができる。 | ・伴って変わる二つの数量を見いだして、それらの関係に着目し、表や式を用いて変化や対応の特徴を考察している。 | ・伴って変わる二つの数量について、数学的に表現・処理したことを振り返り、多面的に捉え検討してよりよいものを求めて粘り強く考えたり、数学のよさに気付き学習したことを生活や学習に活用しようとしたりしている。 |
| 具体的な内容のまとめごとの評価規準 | | |
| <ul style="list-style-type: none"> ・身の回りから伴って変わる二つの数量を見付け数量の関係の変化の特徴を見いだしている。 ・折れ線グラフに表された伴って変わる二つの数量の変化の特徴について読み取ることができる。 ・伴って変わる二つの数量の関係を明確にするために、資料を表に表したりグラフを用いて表したりすることができる。 ・折れ線グラフを用いると、伴って変わる二つの数量の変化の様子をわかりやすく表すことができることを理解している。 | <ul style="list-style-type: none"> ・身の回りの数量から、それに伴って変わると考えられる別の数量を見つけ、一方の数量を決めれば他の数量が決まるかどうか、あるいは一方の数量は他の数量の変化に伴って変化するか、というような関係について考えている。 ・伴って変わる二つの数量の関係を表に整理して、変化や対応の特徴を考察している。 ・対応の特徴を式に表して表現したり変化の様子を折れ線グラフに表して考察している。 | <ul style="list-style-type: none"> ・関数の考えや統計的な見方のよさに気付き、進んで生活や学習に活用しようとしている。 ・表やグラフ、式に表された変化や対応の特徴を振り返り、それぞれの表し方のよさに気付き、さらに考察を進めようとしている。 |
| (2) 「二つの数量の関係」 | | |
| 内容のまとめごとの評価規準 | | |
| ・簡単な場合について、ある二つの数量の関係と別の二つの数量の関係とを比べる場合に割合を用いる場合があることを知っている。 | ・日常の事象における数量の関係に着目し、図や式などを用いて、ある二つの数量の関係と別の二つの数量の関係との比べ方を考察している。 | ・二つの数量の関係について、よりよいものを求めて粘り強く考えたり、学習したことを生活や学習に活用しようとしたりしている。 |
| 具体的な内容のまとめごとの評価規準 | | |
| ・簡単な場合について、ある二つの数量の関係と別の二つの数量の関係とを比べる場合に、割合がいつでも変わらない場合は、割合を用いて比べることができる。 | ・日常の事象における数量の関係に着目し、図や式などを用いて、ある二つの数量の関係と別の二つの数量の関係との比べ方を考察し、場面にあった比べ方を判断している。 | ・簡単な場合について、ある二つの数量の関係と別の二つの数量の関係との比べ方を、場面に即して判断したり、生活や学習に活用しようとしている。 |

算数科 小学校 第4学年

D 「データの活用」の評価規準

| 知識・技能 | 思考・判断・表現 | 主体的に学習に取り組む態度 |
|---|--|--|
| (1)「データの収集とその分析」 | | |
| 内容のまとめりごとの評価規準 | | |
| <ul style="list-style-type: none"> ・データを二つの観点から分類整理する方法を知っている。 ・折れ線グラフの特徴とその用い方を理解している。 | <ul style="list-style-type: none"> ・目的に応じてデータを集めて分類整理し、データの特徴や傾向に着目し、問題を解決するために適切なグラフを選択して判断し、その結論について考察している。 | <ul style="list-style-type: none"> ・データを収集したり分析したりすることについて、数学的に表現・処理したことを振り返り、多面的に捉え検討してよりよいものを求めて粘り強く考えたり、数学のよさに気づき学習したことを生活や学習に活用しようとしていたりしている。 |
| 具体的な内容のまとめりごとの評価規準 | | |
| <ul style="list-style-type: none"> ・資料を分析するとき、二つの観点から分類整理する方法を知っている。 ・資料を、二つの観点から落ちや重なりがないように分類整理して表に表すことができる。 ・時系列データについて折れ線グラフに表して時間的変化を読み取ることができる。 ・紙面の大きさや目的に応じて一目盛りの大きさをきめることができる。 ・複数系列のグラフや組み合わせたグラフの特徴を読み取ることができる。 | <ul style="list-style-type: none"> ・目的に応じて、観点を考えて必要なデータを集めている。 ・問題を解決するために適切な表やグラフを選択してデータの特徴や傾向を捉え問題に対する結論を考えている。 | <ul style="list-style-type: none"> ・データを収集したり分析したりした過程を振り返り、よりよい表現や結論の出し方を考えている。 ・統計的な問題解決のよさに気づき、生活や学習に活用しようとしている。 |